

■ 斑点米カメムシ類対策は雑草防除で行います。

・斑点米カメムシ類（アカスジカスミカメ）対策は水田内の雑草防除と農道・畦畔の草刈りを組み合わせてカメムシがほ場に入らない環境づくりをします。

◎アカスジカスミカメの生態

成虫は体長4.6～6mm、背側中央部に橙赤色の太い縦条がある。イネ科雑草の穎花内で卵越冬し、年3～4回発生する。主に7月下旬以降に発生した成虫が加害し、斑点米を発生させる。イネ科雑草やホタルイ類等のカヤツリグサ科雑草の穂に産卵し増殖する。



アカスジカスミカメ成虫

○水田内に雑草が残った場合は中・後期除草剤で防除しましょう

・中・後期剤には、使用時に湛水で散布する剤と、落水して散布する剤があります。使用前にラベルをよく読んで、使用方法にそって散布しましょう。

剤系	薬 剤 名	使用量 希釈水量	本 剤 使用回数	使 用 時 期 使 用 方 法
ヒ エ 剤	ヒエクリーン1*。粒剤	1kg/10a	1回	移植後15日～ノビエ4葉期 但し、収穫45日まで 湛水散布
	クリンチャー1*。粒剤	1kg/10a	2回以内	移植後7日～ノビエ4葉期 但し、収穫30日前まで 湛水散布又は無人ヘリコプターによる散布
		1.5kg/10a		移植25日～ノビエ5葉期 収穫30日前まで 湛水散布又は無人ヘリコプターによる散布
クリンチャーEW	100ml/10a 25～100%	2回以内	移植後20日～ノビエ6葉期 但し、収穫30日まで 湛水散布又は落水散布（展着剤加用）	
ヒエ・ 広葉 混合 剤	ハイカット1*。粒剤	1kg/10a	1回	移植後15日～ノビエ3.5葉期 但し、収穫60日前まで 湛水散布又は無人ヘリコプターによる散布
	ヒエクリーンバサグラン粒剤	3kg/10a	1回	移植後15日～ノビエ4葉期 但し、収穫60日前まで ごく浅く湛水して散布
	クリンチャーバスメ液剤	1000ml/10a 70～100%	2回以内	移植後15日～ノビエ5葉期 但し、収穫50日前まで 落水散布又はごく浅く湛水して散布
	フォローアップ1*。粒剤	1kg/10a	1回	移植後25日～ノビエ5葉期 但し、収穫60日前まで 湛水散布
	ワイドアタックSC	100ml/10a 100%	2回以内	移植後25日（イネ6葉期以降）～ノビエ5葉期まで 但し、収穫30日前まで 落水散布またはごく浅く湛水して散布

※効果が遅効的な薬剤もありますので、ご使用前に営農センターにご確認ください。

※有効成分ごとの使用回数は農業ラベル等で確認ください。

■ 農道・畦畔の草刈りはこまめに行います。

・農道、畦畔の草刈りは6月上旬から稲が出穂する10～15日前までに数回行います。

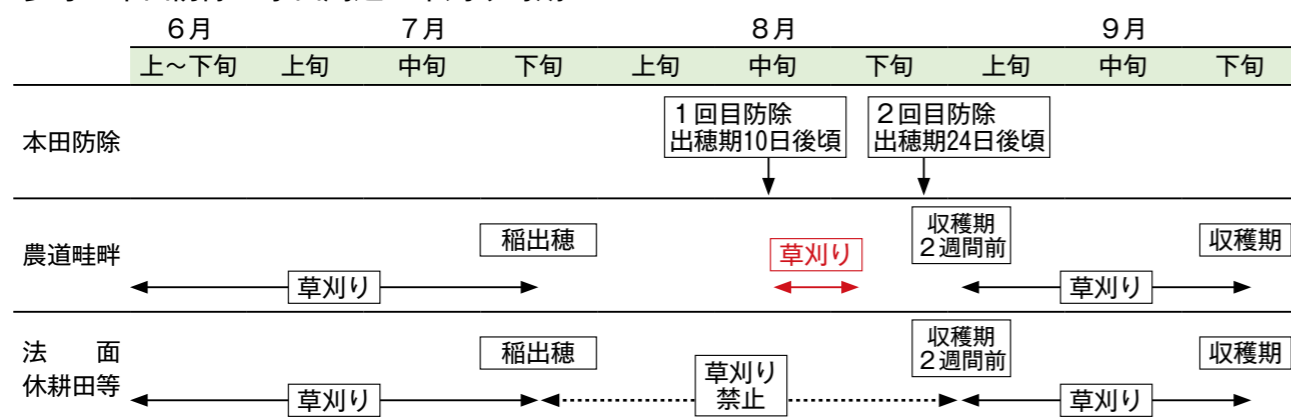
☆おばこ一斉草刈りデーは7月19日～25日までです☆

・8月には出穂期10日後頃の茎葉散布剤の散布後に草刈りを行い、アカスジカスミカメの増殖源となるイネ科雑草の除去に努めます。

その後、草刈りをする場合は稲の収穫2週間前以降に行います。



参考：本田防除と水田周辺の草刈り時期



No.4

農業技術情報

平成25年6月発行

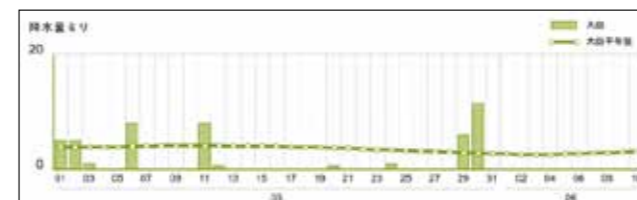
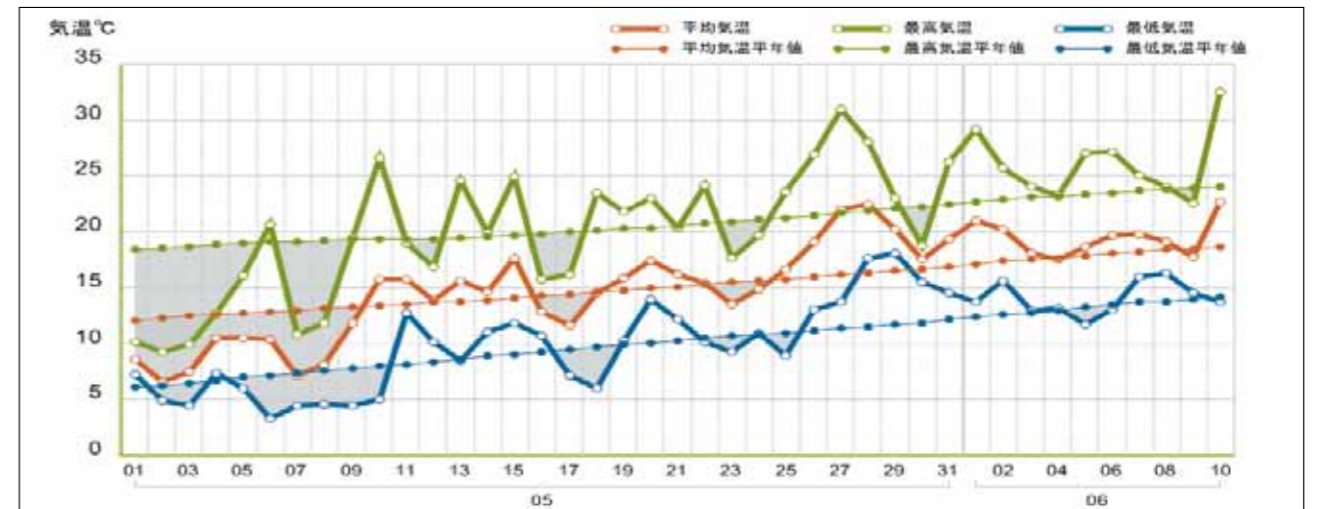
監修：仙北地域振興局農林部農業振興普及課



■ 今年も高温&乾燥した気象がつづいています！ ■

～ 有効茎決定期の深水管理・中干し・追肥の3ステップで稲体の充実を！！ ～

■ 気象経過：5月1日～6月10日（アメダス大曲）



・気象経過を見ると、5月上旬の気温は平年を下回る日が多く、育苗期間中は出芽に時間が掛かりました。その後、気温は回復しましたが、日によっては極端に気温が上がったりするなど、ハウスの温度管理が難しく、ばか苗病や籾枯れ細菌病の被害が散見されました。

・降水量、日照時間を見ると5月中旬以降は殆ど雨が降らず、渇水状態に陥っており、管内でも水掛かりの困難な地区で、代掻き・田植えが出来ないほ場が報告されています。また、田植え後に用水が不足し、ヒビ割れしているほ場もありますので、漏水に注意し、管内全ての地区で安定的な生産が出来るようご協力願います。

■ 水稻定点調査結果（仙北地域振興局農業振興普及課より）

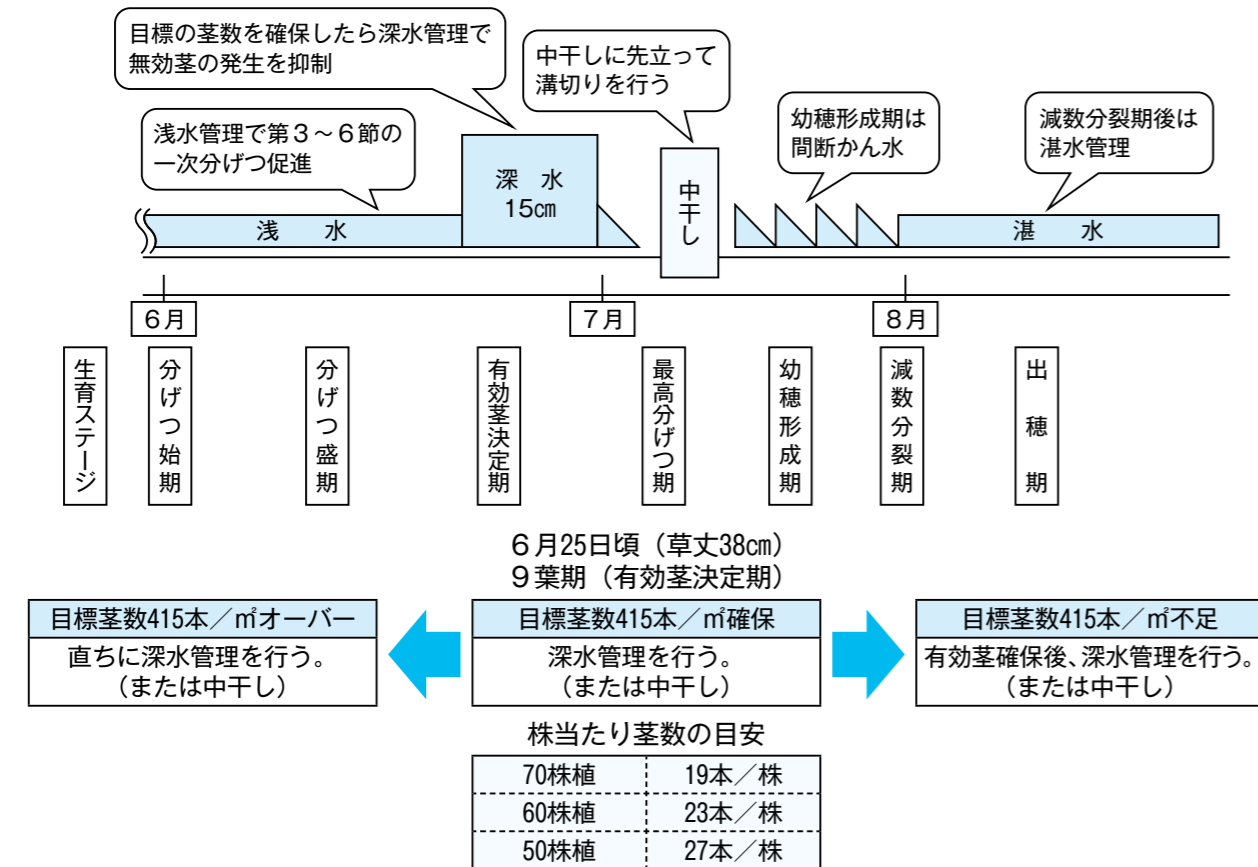
・6月10日現在の「あきたこまち」の生育は、草丈は23.5cmでやや短く（平年比94%）、茎数は152本/m²で平年並（平年比98%）、葉数はやや少ない5.6葉（平年差-0.3葉）でした。定点ほの田植え日の平均は5月24日と平年より4日遅くなりましたが、葉数から見た生育の遅れは2日程度となっています。5月6半旬以降、気温の高い日が続いており、生育は平年並となっています。

平成25年産 作業進捗状況

	始 期 (5%)			盛 期 (50%)			終 期 (95%)		
	本 年	平 年 差	前 年 差	本 年	平 年 差	前 年 差	本 年	平 年 差	前 年 差
播 種	4月20日	遅1日	早1日	4月25日	遅2日	早1日	5月1日	遅2日	遅1日
耕 起	5月4日	遅4日	遅4日	5月11日	遅6日	遅4日	5月18日	遅8日	±0日
田 植	5月21日	遅5日	遅4日	5月26日	遅4日	遅1日	6月5日	遅8日	遅4日

■ 水管理で健康な稲を育てます～蓄積型水稻の水管理～

- ・ 6月は浅水管理で有効茎となる第3～6節の一次分げつの発生を旺盛にしている時期です。浅水管理で茎数確保に努めてください。
- 有効茎決定期（6月下旬）に、目標の茎数（下記図）を確保したら、深水管理・中干しを実施します（7日～10日間）。



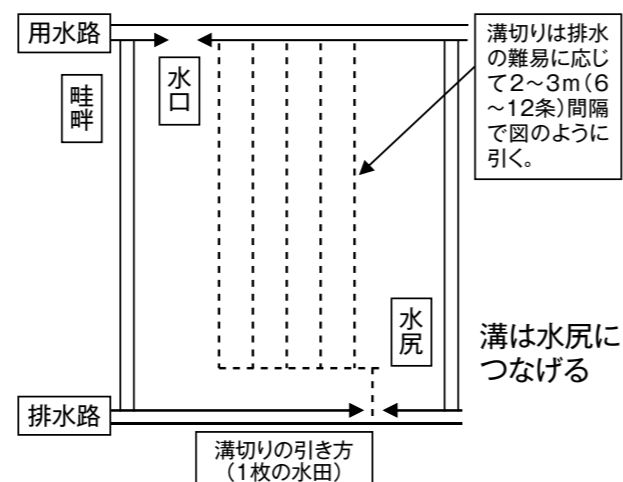
■ 中干しの実施

●中干しの目的と効果

- 1) 水を切ることにより無効分げつを抑え、茎数過多を防ぎます。葉の垂れを防ぎ、光が株内によく入るようにします。
また、下位節間の伸長を抑え、倒伏しにくい稲に仕上げます。
- 2) 土壌中に酸素を供給し、還元状態で生成される有害成分（二価鉄、硫化水素、有機酸）を無毒化して、新たな根の伸長を促進し、後半まで活力を維持させます。
- 3) 機械作業に適した土壌硬度を確保します。この時期に一度しっかり干すことで、収穫直前の落水でも容易に田面が硬くなり、刈取作業がスムーズに行えます。

●中干しのポイント

- 1) 排水不良田や田面の高低差があるほ場では中干しに先だって“溝切り”を行います。
- 2) 中干しの実施期間は7～10日程度とし、幼穂形成期前には終了します。
- 3) 中干しの程度は、田面に1～2cm程度の亀裂が入り足跡が付く程度とします。
※中干しを強くしすぎると亀裂が大きくなり、根が切れ、生育に影響を及ぼします。
- 4) 中干し終了後は間断かん水とし、土壌を酸化的な条件に保ち根の伸長を促進させます。
- 5) 中干し終了後は間断かん水でイネを健康な状態で生長させます。



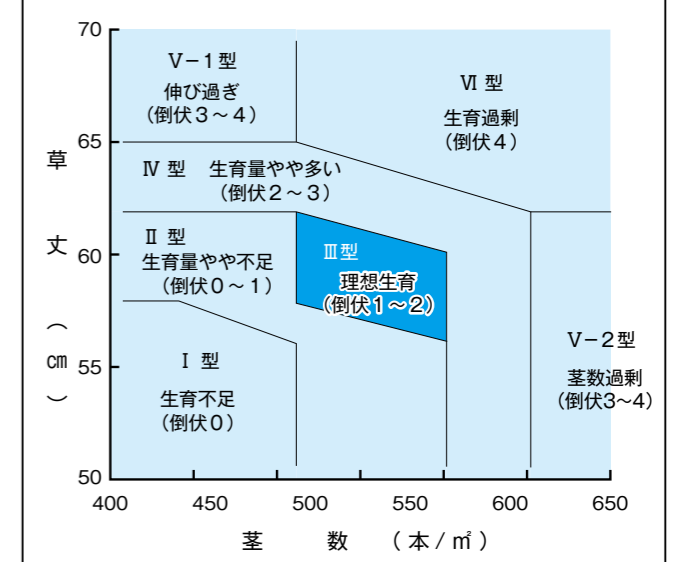
■ 生育状態を把握し、適切な穂肥を行います。

- ・ 昨年に続き、高温傾向が予想されます。稲も人間と同じく、暑い環境にさらされると活力が低下（夏バテ）しますので、幼穂形成期（7月15日頃）に生育・栄養診断を行い、生育状況や気象予報に応じた穂肥の判断をしましょう。

時期別理想生育量

項目	時期	最高分げつ期	幼穂形成期	減数分裂期
		7月5日	7月15日	7月25日
草丈 (cm)	上限	50	64	75
	理想	47	62	74
	下限	45	60	72
茎数 (本/m ²)	上限	484	484	454
	理想	462	463	437
	下限	440	443	420
葉数	上限	10.0	11.0	12.5
	理想	9.8	10.9	12.3
	下限	9.6	10.7	12.1
葉色 (SPAD値)	上限	45	43	39
	理想	44	42	38
	下限	43	41	37

幼穂形成期の生育診断値



○幼穂形成期（出穂25日頃）の草丈 (cm) × 茎数 (本/m²) と幼穂伸長期間の気象予報からの診断

幼穂形成期の生育量	幼穂伸長期間の気象予報別の追肥対応		
	低温・少照・多雨	平年並	高温・多照・少雨
27,000未満	幼形期・減分期 窒素 2kgづつ2回	幼形期・減分期 窒素 2kgづつ2回	幼形期・減分期 窒素 2kgづつ2回
27,000以上 30,000未満	幼形期…ムラ直し 減分期…窒素1.5kg	幼形期・減分期 2回で合計3kg以内	幼形期・減分期 2回で合計3kg以内
30,000以上 34,000未満	幼形期…なし 減分期…ムラ直し	幼形期…ムラ直し 減分期…窒素1.5kg	幼形期…ムラ直し 減分期…窒素1.5kg
34,000以上	なし	なし	なし

※上記表は暫定案です。詳しくは各営農センターへご相談ください。

追肥専用肥料

肥料名	施肥量 (kg/10a)	施用時期	備考
おぼこロマンみのり	7～13kg	出穂前15日	硫安系 15-4-15 有機20%入り
おぼこロマンめぐみ			塩安系 15-4-15 有機20%入り

■ 微量要素肥料の追肥で異常気象に強い稲づくりを行います。

水稻はチッソ、リン酸、カリ以外にもケイ酸や苦土など微量要素を土壌から吸収しています。微量要素の施用は、米の生産性や品質の向上、異常気象（高温、強風など）に強い稲づくりに繋がります。

微量要素肥料

肥料名	施肥量 (kg/10a)	施用時期	備考
P K 化成 40 号	20～40kg	6月下旬～ 7月初旬	① 倒伏抵抗性が高まる
けい酸加里			② 根の活力向上
おぼこの大地			③ 有効茎歩合の向上
粒状みつかね	40kg		④ 登熟歩合の向上